

学校のトイレを和式から洋式へ

市内の学校の多くは、建築から相当の年数が経過しており、そのほとんどで和式便器が設置されています。一方で、家庭では洋式便器の設置が普及するなど、和式便器が苦手な子どもが増えていることから、「学校トイレ快適化計画」に基づき、学校トイレの洋式化を計画的に進めています。



改修校 平成25年度

小学校 6校(一身田、栗真、片田、敬和、高岡(*), 神戸(*))

中学校 2校(西橋内、久居東(*))

平成26年度

小学校 6校(南立誠、育生、櫛形、高茶屋、川口、白塚(*))

中学校 2校(久居西、一身田(*))

事業費 約8億1,000万円(平成24~26年度)

*印の学校の事業費については大規模改造、増築および再編に含まれています。

トイレ改修例



西橋内中学校生徒の皆さんによるトイレ掃除大作戦

～新しくなったトイレをいつまでも大切に使いたい～

西橋内中学校では、生徒の皆さんが自主的に全校生徒に呼び掛けて、トイレの清掃活動が行われています。



今後の予定

今後も、小中一貫教育に伴う施設一体型小中一貫校舎の増築および改修をはじめ、児童の増加に伴う教室数の確保、プレハブ校舎の解消など、子どもたちの学習環境の向上に向けて取り組みます。

